

フジテレビ系金沢2025 協賛事業
鈴木大拙 / 小原古邨

演出/出演

メディアアーティスト
落合陽一

Yoichi Ochiai
& Kae Ogawa

Calculations of the Soul:
Melodies of Spirituality

フォルテピアニスト

小川加恵

魂の計算 霊性の旋律



トーク
アンド
パフォーマンス

2/2 日 15時開演 (開場14時)
全席指定 4,000円(税込)
金沢市アートホール

金沢市本町2丁目15番1号 ポルテ金沢6F

- 主催: 金沢市芸術文化ホール共同事業体 (金沢芸術創造財団、ケイ・シー・エス)
 - 共催: 北國新聞社 / 一般財団法人 石川県芸術文化協会
 - 後援: 北陸放送 / テレビ金沢 / 金沢ケーブル / エフエム石川 / ラジオかなざわ・こまつ・ななお
 - 特別協力: ジセカイ株式会社
 - 協力: 金沢市 / 天狗舞
 - チケット取扱い 北國新聞イベントガイド▶
 - 北國新聞イベントガイド <http://hk-event.jp/>
 - CNプレイガイド [TEL] 0570-08-9999 (10:00~18:00)
 - お問い合わせ: ケイ・シー・エス [TEL] 076-224-4141 (平日10:00~18:00、土日祝休) [WEB] www.kcs-inc.jp
- ※都合により内容が変更になる場合がございます。



魂の計算 靈性の旋律

本コンサートは、デジタルネイチャーと生成AIを媒介に、アニミズムや日本の靈性を現代アートと音楽の文脈で再定義します。

小原古邨の擬人化された動物画や鈴木大拙の禅哲学を基に、計算機自然が持つ靈性を探求します。

静止画から生き生きとした映像を生み出す技術を通じて、「山川草木悉有仏性、一切衆生悉皆成仏」の感覚をデジタルの領域で再現し、絵画から音楽、物語、そして他の感覚様相へと靈性を拡張します。



第一部

「計算機自然とアニミズムの再定義」をテーマとしたトークと落合陽一によるミュージックパフォーマンス

鈴木大拙の禅哲学や日本のアニミズム思想を、デジタルネイチャーの観点から再解釈。落合陽一のアカデミックな視点で、哲学的な議論を展開。

第二部

「芸術における靈性の拡張」をテーマとしたトークと小川加恵によるミュージックパフォーマンス

絵画から音楽、物語へと靈性が拡張される過程を考察。AIがもたらす新たな創造性と靈性の可能性について議論を展開。

- ♪ドビュッシー：《映像》第2集第3曲〈金色の魚〉
- ♪ジョン・ケージ：Seven Haiku 7つの俳句ほか



第三部

「デジタルネイチャーが拓く未来の芸術」をテーマとしたトークとミュージックパフォーマンス

現代アートと現代音楽におけるデジタルネイチャーの位置づけと、その哲学的意義を探求。落合陽一の研究や考察を通じて、未来の芸術表現を展望。



小川加恵

当日会場ロビーにて、天狗舞のご協力により地酒を入場者の皆様に試飲頂けるコーナーを設けております。

試飲は20歳以上に限り、また、お車を運転の方はご遠慮ください。

鈴木大拙 / 小原古邨

一八七〇—一九六六

金沢市生まれの仏教哲学者、思想家。仏教関連書籍を英訳するなど、世界中大乗仏教、特に禅の思想を広め、D.T. Suzuki として知られる。

一八七七一—一九四五

金沢出身の絵師。身近な自然が見せる一瞬の美を捉えた作品は、制作当時から海外で高い人気を誇り、近年国内でも注目を集めている。



© 中川容邦 / KADOKAWA

落合陽一

メディアアーティスト

1987年生まれ、2010年頃より作家活動を始める。境界領域における物化や変換、質量への憧憬をモチーフに作品を展開。筑波大学デジタルネイチャー開発研究センターセンター長、筑波大学図書館情報メディア系准教授、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）テーマ事業プロデューサー。主な個展として「晴れときどきライカ」（ライカギャラリー東京、京都、2023）、「X即是計算機自然：符号化された永遠、オブジェクト指向本願」（岐阜・日下部民藝館、2023）、「X即是驛即の寂即是驛」（Gallery & Restaurant 舞台裏、2024）、「星夜の相代も神仏：鯨X. 鯉X. フォン」（東京 BAG-Brillia Art Gallery、2024）、「どちらにしようかな、Xの神様の言うとおり：円環・曼荼羅・三巴」（岐阜・日下部民藝館、2024）など多数。また「落合陽一 × 日本フィルプロジェクト」（2017-2024）の演出や「焚く火祭」（さどの島銀河芸術祭、2022）で佐渡の伝統芸能・鬼太鼓と共演、「飛騨高山ジャズフェスティバル」（2022, 2023）でのVJ、DJなど、さまざまな分野とのコラボレーションも手掛ける。

フォルテピアニスト

東京藝術大学、オランダ、デン・ハーグ王立音楽院修了。第16回ファン・ワセナル国際古楽コンクール（オランダ）第1位受賞。これまでにユトレヒト古楽音楽祭（オランダ）、バルセロナ古楽音楽祭（スペイン）、サント古楽音楽祭（フランス）、アントワープ古楽音楽祭（ベルギー）などヨーロッパの主要な古楽音楽祭に招聘されている。日本国内においても全国各地の主要コンサートホールによる主催公演に多数出演。テレビ朝日「題名のない音楽会」やNHKEテレ「クラシック音楽館」、NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」に出演するなどメディアへの出演も多数。また2022年からはメディアアーティストの落合陽一氏とともに古楽器とメディアアートによる新たなクラシック音楽体験事業の創出にも力を注いでおり、これまでに「Re-membering the Past, Re-imagining the Future ~ 再編成される過去と再投影される未来 ~」（神奈川県立音楽堂）、「計算機と古楽器で奏する新しい音楽会—未知への追憶—」（サラマンカホール）、「デジタル、古楽器、千利休」（フェニーチェ堺）などのコラボレーションコンサートを実施している。

ウェブサイト：<https://www.kaeogawa.com>

キービジュアルは落合陽一氏による生成AI作画。